



TSUGARU SHAMISEN

VIRTUOSO JAPANESE
SERIES



Sonica Instruments
TSUGARU SHAMISEN
Virtuoso Japanese Series
User's Manual

この度は Sonica Instruments Virtuoso Japanese Series TSUGARU SHAMISEN を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。

Sonica Instruments Team

はじめに

津軽三味線とは

三味線は日本の音楽を表現する上で、箏・尺八と並んで欠かすことの出来ない楽器です。その中でも津軽三味線は青森県津軽地方に伝わる三味線で、独自の発展を遂げました。日本の三味線は「太棹」「中棹」「細棹」に大別できますが、津軽三味線は「太棹」に分類されます。他の三味線と比べて全体的に大きく、深く重みのある音色で、音量も大きく、迫力のある音を奏でます。民謡の伴奏と独奏のスタイルが多く、特に独奏では撥を叩きつけるような弾き方や、即興演奏、速弾きなど独自のスタイルで発達し、その音色と演奏の迫力が魅力で、現代ではポップスやロック、ダンスミュージックに取り入れられることも多くなりました。

Virtuoso Japanese Series

TSUGARU SHAMISEN について

この製品は津軽三味線のリアルな再現を目標に開発されました。津軽三味線の演奏は山中信人氏。卓越した演奏力で狂いのない、素晴らしい音を奏でていただきました。さらに妥協のないレコーディング、Kontakt プログラミングによって、まるで目の前で演奏されている様な、最も津軽三味線に近いソフトウェア音源として完成しました。ぜひ TSUGARU SHAMISEN をたくさんの音楽の中でお使いください。

そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品をお使いになっていただくことが、皆様が本物の津軽三味線の魅力を知るきっかけになれば幸いです。

製品の特長

高精細な 24bit、96kHz のマルチマイク収録

レコーディングは 10 本以上の様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用、高精細な 24bit、96kHz レコーディングされました (製品では 24bit、44.1kHz で収録)。

製品では DirectMic、OverheadMic、RoomMic、StereoMix の使いやすい 4 種類のマイキングでミキシングが可能です。

豊富なアーティキュレーション、5 つのフレーズバンク、掛け声、スライドノイズを収録

20 以上のアーティキュレーション、スライドノイズ、掛け声、フレーズパターンをキースイッチでコントロール、MIDI キーボード上で表現力豊かなリアルタイム演奏が可能です。

津軽三味線特有の奏法を再現可能にする、独自の発音メカニズムとインターフェース

ストリングモード・メカニズム

津軽三味線には 3 本の弦がありますが、基本的にギターのような和音演奏はあまりせず、一の糸をメインにした単音フレーズや三の糸をメインにした単音フレーズを駆使して演奏します。この演奏方法を再現するために、TSUGARU SHAMISEN では 3 本の弦を独立した楽器として挙動させ、弦を選択して発音させるストリングモード・メカニズムを開発し、搭載しました。演奏時は、キースイッチでストリングモードを瞬時に選択可能。これによって、本物と同じように 3 本の弦を縦横無尽に行き来する演奏表現が可能となりました。

「はじき」奏法を再現する「はじき」Hajiki-Legato 機能

左手の指で弦をはじく、三味線特有のタッピング奏法の一つ「はじき」。MIDI キーボードをレガートで演奏すれば、どのアーティキュレーションからも、KeySwitch 操作することなく瞬時に「はじき」音で演奏可能です。



TSUGARU
SHAMISEN
VIRTUOSO JAPANESE

連続したバチさばきを再現するオルタネイト奏法機能

キーオンで打ちおろし（ダウンストローク）、キーオフでスクイ（アップストローク）を交互に発音可能なオルタネイトピッキング機能を搭載しました。この機能はサスティンペダルを踏んでいる間だけアクティブになり、どのアーティキュレーションで演奏していても、瞬時にこの奏法を差し込むことができます。サスティンペダルを踏んでいる間、連続で打鍵すれば簡単にトレモロ奏法が実現できます。



「さわり」と「共鳴音」を発音するレゾナンス機構

津軽三味線の響きを作るのに最も重要な吾妻さわり（あづまさわり）と共鳴音を独立して音源化、津軽三味線の発音と同じように、特定の音程に反応して共振します。さらに、これらのレゾナンス音は、三つの調弦タイプとキートランスポーズにも追従し、三味線の本来の響きを確実に再現します。またレゾナンス音はそれぞれ成分音量をコントロール可能です。

3種類の調弦とキートランスポーズ

二上り、本調子、三下りのスタンダードな三味線の調弦を用意しました。調弦を変えると、鍵盤上では音程はクロマチックに並んだままですが、開放弦の音程が変わり、同時にさわりと共鳴音も追従し、その調弦独特の響きが再現されます。

楽器の状態を緻密にコントロールできる Instrument Editor

弦ごとに調整可能なストリングボリュームとファインチューニング、さわりの音量、共鳴音の音量、ミュートノイズの音量を調整できるノイズミキサーを用意。楽器全体の響きを緻密に調整できます。

二つのプレイモードとピッチベンドモード

リアリティを追求する Single、コード楽器として演奏可能な Poly。目的に応じて二つのプレイモードを用意しました。またピッチベンドについても、演奏中の弦だけにかかる Solo、全体にかかる All という二つのピッチベンドモードを用意しました。

NKS に対応

NKS に対応し、KontaktPlayer / Kontakt (ver.5.7.3 以上) / KOMPLETE KONTROL 上で使用することができます。KOMPLETE KONTROL キーボードなど NKS 対応ハードウェアとの連携時には、音色を素早くプレビューしたり、ハードウェアのノブやコントローラーをフル活用することができます。

製品仕様

Native Instruments KONTAKT 5.7.3 以上
KONTAKT PLAYER 対応
NKS 対応

動作環境

MacOSX 10.10 以降
Windows 7,8,10
Intel Core2 Duo または AMD Athlon64 X2
Mac、Windows ともに 4GB RAM(16GB 推奨)

データ容量 :NCW 約 6.95 GB 相当 (WAV 約 17.6 GB 相当)

- ・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments KONTAKT 又は KONTAKT PLAYER5.7.3 以上が必要になります。
- ・製品のインストールには 6.95 GB 以上のディスク空き容量が必要です。
- ・PC 環境、動作環境は Native Instruments KONTAKT 及び KONTAKT PLAYER の推奨動作環境に準じます。
- ・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速な CPU と、余裕のある RAM メモリーを搭載したコンピュータに製品をインストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。

必要な MIDI コントローラー

いくつかのコントローラーを用意することで、より TSUGARU SHAMISEN の機能を最大限に生かし、リアルな演奏を再現出来ます (CC : コントロールチェンジ)。

Sustain Pedal CC#64

鍵盤から指が離れた時に、撥で弦を上弾く奏法が表現されます。これにより、キーオンで打ちおろし (ダウンストローク)、キーオフでスクイ (アップストローク) を交互に発音可能なオルタネートピッキングが可能になります。この機能はサスティンペダルを踏んでいる間だけアクティブになり、どのアーティキュレーションで演奏していても、瞬時にこの奏法を差し込むことができます。サスティンペダルを踏んでいる間、連続で打鍵すれば簡単にトレモロ奏法が実現できます。

Key Switch F1 と Control Change CC#11

一部のアーティキュレーションにおいて、バリエーションをコントロールします (固定)。

< ご注意 >

TSUGARU SHAMISEN では、MIDI CC#11(Expression) を一部アーティキュレーションのバリエーション・コントロール 専用に使うため (固定)、Learn MIDI CC# 機能を使って各ノブに MIDI CC# を割りあてる際は、CC#11 を避けてください。

Quick Reference to TSUGARU SHAMISEN (PDF) を利用すると便利です。

津軽三味線には特有の演奏方法、スケール奏法、用語があるため、それらを和名とともに簡単にまとめた同 PDF を見ながら 作業することをお勧めします。

製品をお使いいただくにあたって

本製品をお使い頂くには NATIVEACCESS アプリケーションで「シリアルコードの登録」と「ライブラリデータのダウンロード」を行う必要があります。なおインストール作業の詳細な操作や最新の情報は [SonicaInstruments のウェブサイト](https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/) でご確認ください。

1.NATIVEACCESS のインストール

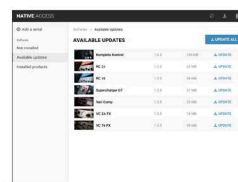
※ NATIVEACCESS をすでにお使いの方は、この操作は不要です。

NativeInstruments 社の WEB サイト (<https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/>) よりお使いのパソコン OS に合わせた「NATIVEACCESS インストーラー」をダウンロードし、以下の手順でインストールを行ってください。



EVERYTHING IN ONE PLACE

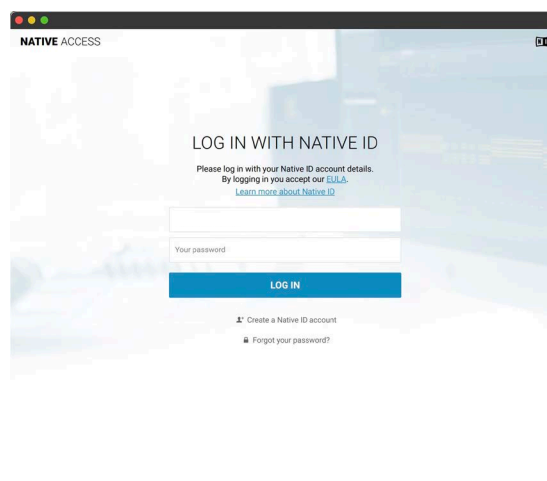
- ▶ 最も簡単な方法で、全ての音楽制作ツールを使用可能な状態にします。
- ▶ ソフトウェアのダウンロード、インストール、アクティベート、アップデートを総合的行うことができます。
- ▶ 製品管理が統合化され、音楽制作により集中することができます。



2.NATIVEID でログイン

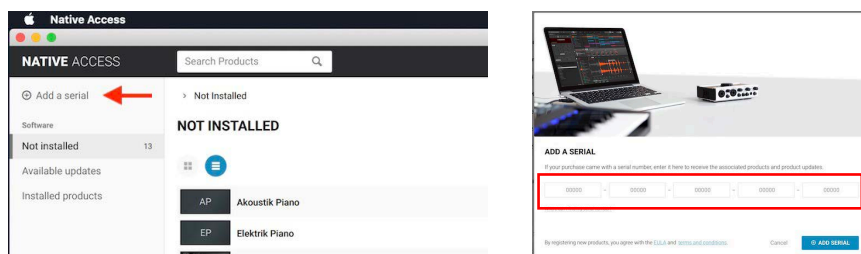
インストールした NATIVEACCESS を起動してログインします。

NATIVEINSTRUMENTS のアカウントをお持ちでない場合、画面内の「CreateNativeInstrumentsaccount」をクリックし、アカウント作成画面を開き、必要事項を入力してアカウントを作成（無料）してください。

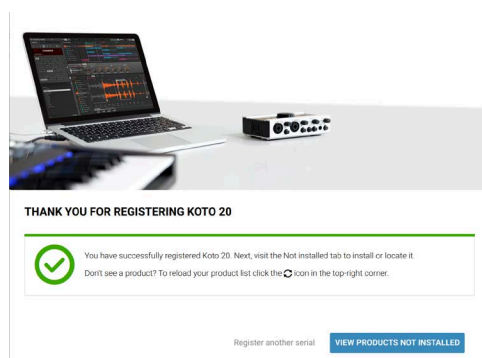


3. シリアルコードの登録

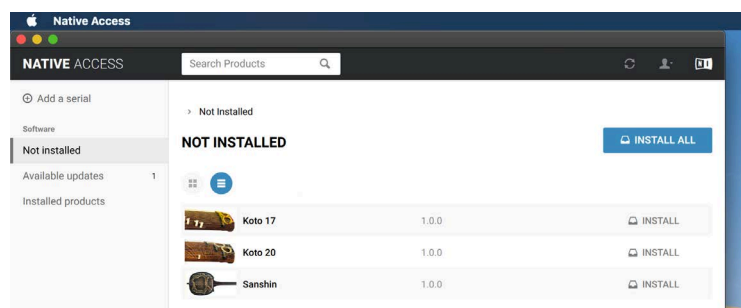
NATIVE ACCESS を起動し、画面左上にある「Add a serial」ボタンをクリックして表示されるウィンドウの赤枠内に、製品購入時に発行されたシリアルコードを入力します（シリアルコードは、購入時に E メールでお送りしています）。



ADD SERIAL ボタンをクリックすると、製品のシリアルコードが登録されます。画面内に表示される「VIEW PRODUCTS NOT INSTALLED」ボタンをクリックし、インストール画面を開いてください。



Not Installed リストに登録した製品が追加されます。インストールしたい製品名の右側にある「Install」ボタンをクリックすると、ダウンロードとインストールが開始されます。



以上でライブラリのインストールは完了です。

ダウンロードの完了後に KONTAKT/KONTAKT PLAYER を起動すると、画面左側の Libraries タブに自動的に製品が追加されます。同様に、COMPLETE KONTROL でも使用することができます。

製品の基本概念

TSUGARU SHAMISEN は KONTAKT および KONTAKT Player、KOMplete KONTROL ソフトウェアで使用することができます。

KONTAKT および KONTAKT Player で使用する場合

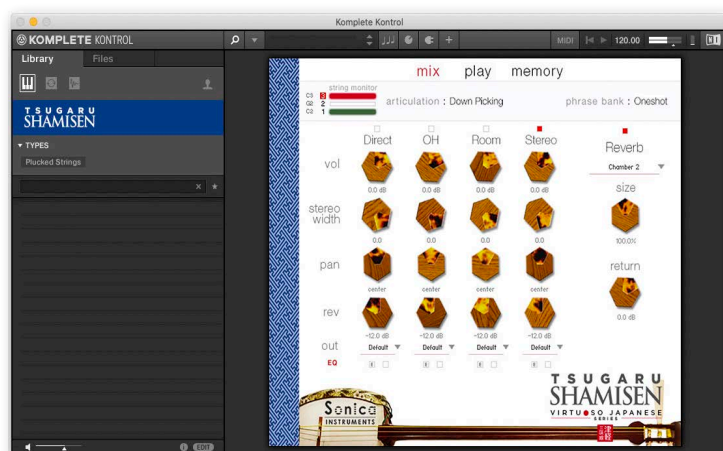
アクティベーションが完了すると、KONTAKT の LibraryBrowser に TSUGARU SHAMISEN のライブラリパネルが追加されます。音色を読み込んでお使いください。



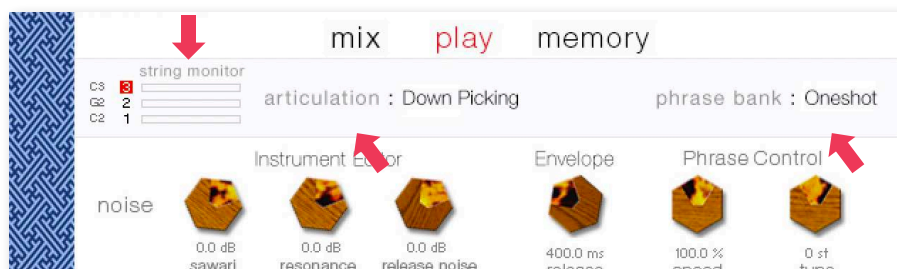
KOMplete KONTROL で使用する場合

本製品は NKS に対応しているため、KOMplete KONTROL や KOMplete KONTROL キーボードと連携し、音色をプレビューしたり、設定をプリセットとして保存する事も可能です。KOMplete KONTROL キーボードのノブコントローラーやブラウザ機能と共に、快適にお使いいただけます。

詳しくは [P.17 「KOMplete シリーズのコントローラーパラメータ」](#) をご覧ください。



3つのモニター表示



ウィンドウ上部にあるこの3つの表示は mix ページ・play ページ・memory ページ全てで常に表示され、key switch で選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

string monitor

津軽三味線には3本の弦がありますが、基本的にギターのような和音演奏はあまりせず、一の糸（一番太い弦）をメインにした単音フレーズや三の糸（一番細い弦）をメインにした単音フレーズを駆使して演奏します。この演奏方法を再現するために、TSUGARUSHAMISEN では3本の弦を独立した楽器として挙動させ、弦を選択して発音させるストリングモード・メカニズムを開発し、搭載しました。

演奏時は、キースイッチでストリングモードを瞬時に選択可能です。これによって、本物と同じように3本の弦を縦横無尽に行き来する演奏表現が可能となりました。

下図は stringmonitor の様子です。今どの弦が選択され演奏しているのかをリアルタイムに表示されます。



開放弦の音程を表示。キートランスポーズに追従して変化します。



選択された弦の番号が赤く囲まれます。



発音している弦が点灯します。開放弦は赤、ネック部分の押弦は緑で点灯します。

string selector

Key Switch	String Mode
C#2	1st String Mode
D#2	2nd String Mode
F#2	3rd String Mode

open string

Key	Open String Sound
D2	1st open string sound
E2	2nd open string sound
F2	3rd open string sound

articulation

key switchで選択されたアーティキュレーション(奏法)名が表示されます。key switchはKONTAKTのキーボードで確認 できます。いくつかのアーティキュレーションにはバリエーションがあり、クリックして選ぶことができる他、キースイッチ F1 および CC#11 で切り替えることができます。

収録内容と Key Switch

KeySwitch	ArticulationName	奏法名	Contol 1	Control 2
C0	Mute(front)3rd string only	前バチ 親指ミュート	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
C#0	Up(front)3rd string only	前バチ スクイ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D0	Mute 3rd string only	前バチ トメ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D#0	Up Picking	スクイ (アップストローク)	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
E0	Down Picking	打ちおろし (ダウンストローク)	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
F0	Staccato	トメ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
F#0	Hajiki (Pulling off / Hammering on)	ハジキ & 打ち指		
G0	Vibrato 1st String Only	ユスリ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
G#0	Slide Up (1st Only Whole / minor3)	スリ上げ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
A0	Slide Up 2x times (1st Only Whole / minor3)	スリ上げ x 2 回	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
A#0	Slide Down (1st Only Whole / minor3)	スリ下げ	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
B0	Slide Up & Down (Half Tone / Major3)	スリ上下	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	F1 or CC#11= W / m3
C1	Slide Up & Down(series)	スリ上下連続		
C#1	Slide Up - Down - Up - Down	スリ上下上下	CC#1 Mod.Wheel = Plucking Control	
D1	Portament Up	スリ		
D#1	Touch Noise	バチのタッチノイズ	全アーティキュレーションに有効	key on ごとに ON/OFF 可能
E1	Mute	ミュート		
F1	Variation Switch	バリエーションスイッチ	G#0, A0, A#0, B0 に有効	F1 or CC#11= W / m3
F#1	Slide Noise 1	スライドノイズ 1		
G1	Slide Noise 2	スライドノイズ 2		
G#1	Slide Noise 3	スライドノイズ 3		
A1	Voice 1	掛け声 1		
A#1	Voice 2	掛け声 2		
B1	Voice 3	掛け声 3		

phrasebank

現在選択されているフレーズバンク（奏法）が表示されます。

KeySwitch	PhraseBankName	フレーズバンク名	フレーズ数
C7	Oneshot Phrase	ワンショット・フレーズ集	9
C#7	8bars Phrase	8 小節フレーズ	9
D7	Long1 Phrase	即興演奏からのショートピース 1	15
D#7	Long2 Phrase	即興演奏からのショートピース 2	15
E7	Long3 Phrase	即興演奏からのショートピース 3	8

MIDI キーボードのレイアウト

C0~D1 : アーティキュレーション Key Switch Zone

D#1 : タッチノイズ Switch

E1 : ミュート

F1 : バリエーションコントロール Switch

F#1~G#1 : スライドノイズ zone

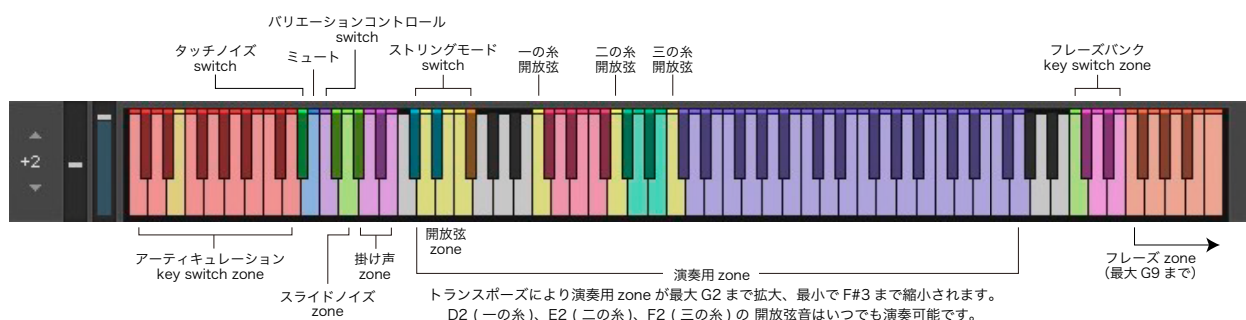
A1~B1 : 掛け声 zone

C#2~F#2 : スtringモード key switch(水色)& 開放弦 (黄色)zone

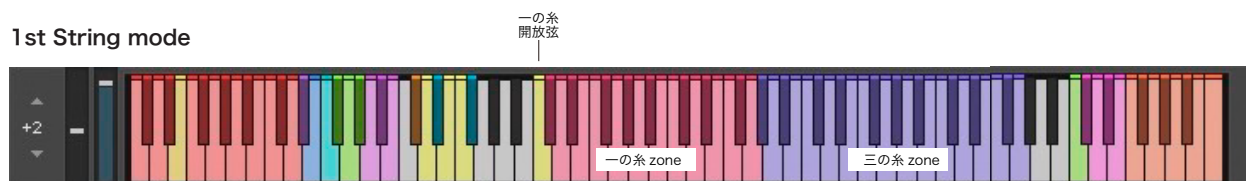
G2~G6 : 演奏用 zone(黄色は開放弦、ピンクは一の糸、緑は二の糸、紫は三の糸)

C7~E7 : フレーズバンク key switch zone

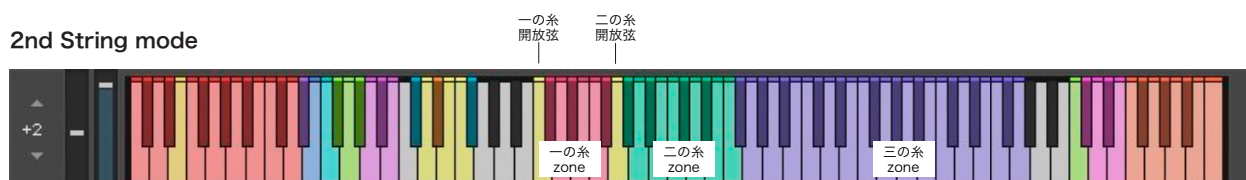
F7~G9 : フレーズ zone



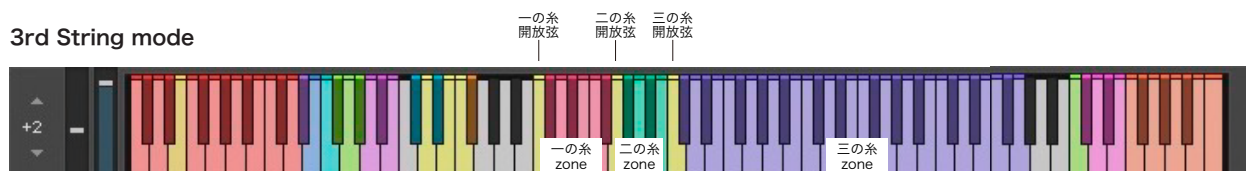
1st String mode



2nd String mode

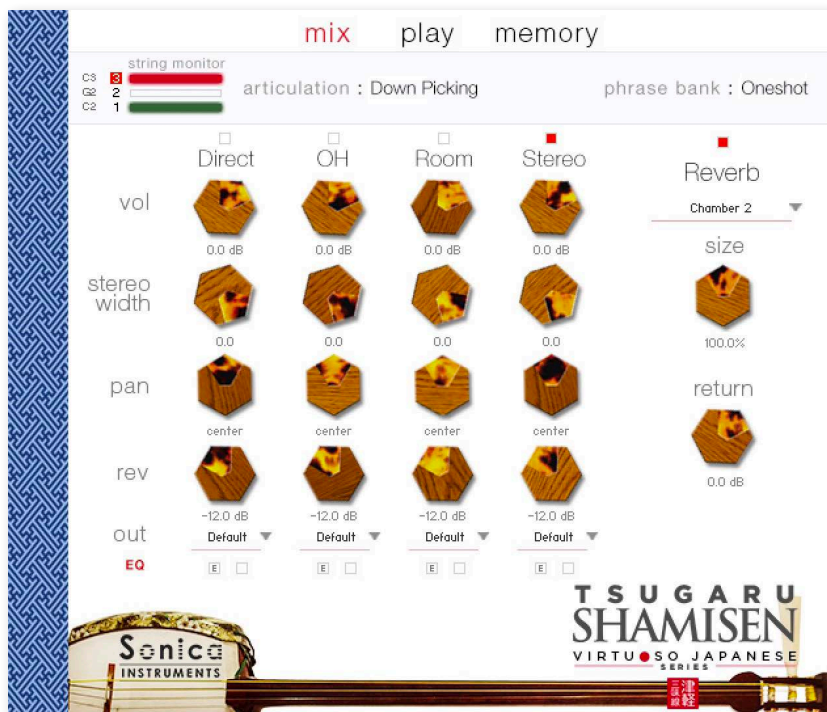


3rd String mode



mix

このページでは基本的な音作りを行います。



Audio Mixer

Direct、**OH(OverHead)**、**Room** 3 種類のステレオマイクポジションとマルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされた StereoMix をミキシングできます。マルチマイクのチャンネルが ON の時は “Stereo” は Off になり、逆に “Stereo” が On の時はマルチマイク・チャンネルは Off になります。

vol : 各チャンネルの音量をコントロールします。

width : ステレオマイキングの広がり进行调整します。100% でオリジナルの広がり、0% でモノラルになります。

pan : 各チャンネルの panpot を調整します。

rev : 各チャンネルのコンボリユーション・リバーブへのセンド量进行调整します。

out : 各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いの DAW へマルチ・チャンネルの状態に取り込む時に便利です。

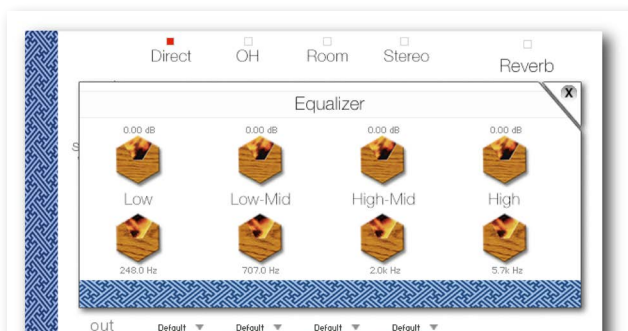


○各マイクのサウンドを、マルチアウトする

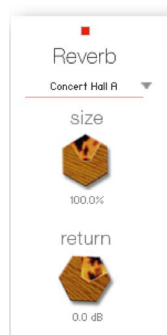
アウトプットを作成した後(※)、KONTAKT のインターフェース右上の「!」ボタンをクリックすると、TSUGARU SHAMISEN の out メニューに作成したアウトプットが反映されます。

※アウトプットの作り方は、KONTAKT のマニュアルをご覧ください。

EQ: 各チャンネルに搭載された 4bandEqualizer を調整します。左ボタン [E] をクリックすると Equalizer ウィンドウがポップアップされます。右のボタンで Equalizer の ON/OFF を行います。



Reverb



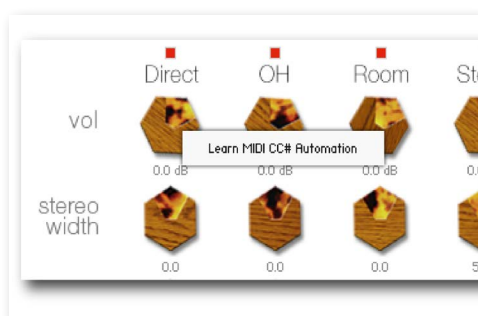
能楽堂の IR(インパルスレスポンス)2 種を含む全 30 種類のコンボリユーションリバーブを選択できます。

size : ReverbTime を調整します。

return : Reverb 成分の音量を調整します。

MIDI CC# Learning 機能

すべてのコントロールノブは MIDI CC (Control Change) で個別にコントロールできます。



Learn MIDI CC# の設定方法

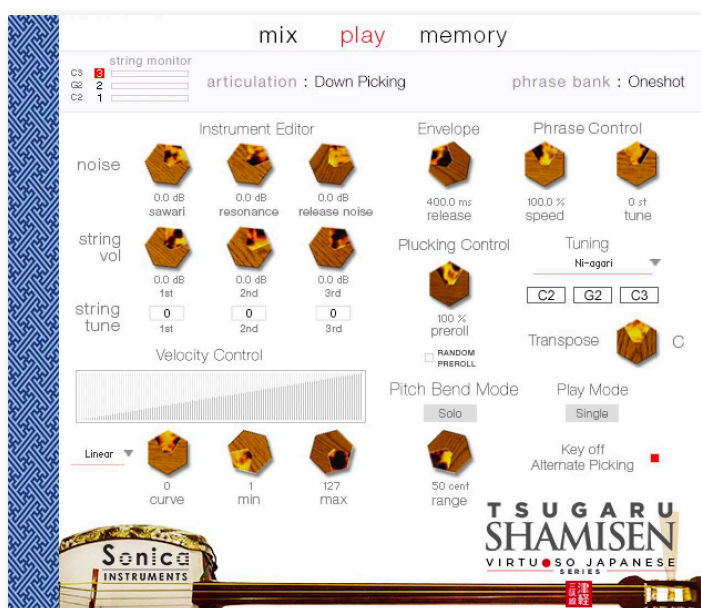
1. コントロールノブを右クリックし “Learn MIDI CC# Automation” を表示する
2. コントロールに使いたい MIDI コントローラーの操作子を動かす
3. 設定完了

MIDI CC# Automation のリムーブ

設定を削除するには、該当のコントロールノブを右クリックし “Remove MIDI Automation CC#xx” を選択してください。

play

このページでは三味線の調弦 (チューニング) と音色のニュアンスを設定します。



Instrument Editor

～ sawari (さわり) について～

三味線の特徴的な響きは“さわり”にあります。津軽三味線の場合、一の糸の上駒付近にある「吾妻さわり」がこの響きを作っています。共振により一の糸以外にも“さわり”が付きますが、チューニングの「二上り」が一番“さわり”が付きやすく明るく派手な音色になり、「三下り」が一番“さわり”が付きにくく暗めの音色、「本調子」がその中間となります。

noise



sawari : さわりの音量を調整します。

resonance : 共鳴音の音量を調整します。

release noise : 弦から指が離れる際のノイズ音量を調整します。

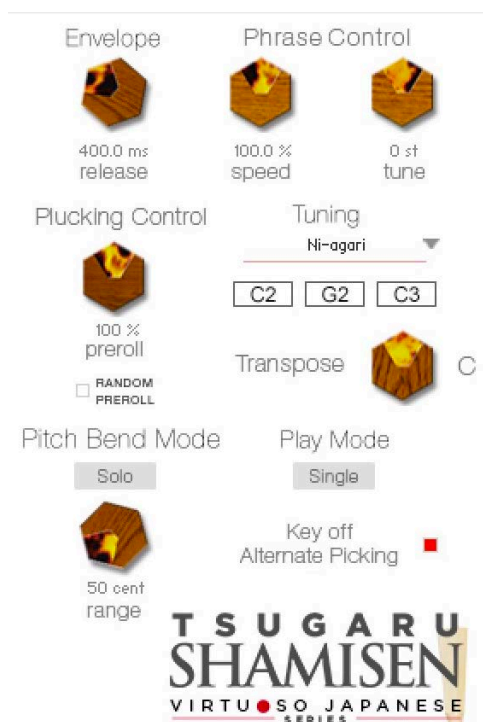
※さわりをわかりやすく確認するには、ストリングモードを三の糸に設定し、MIDI 鍵盤の F4 を押しながら上記のパラメーターを調整してみてください。

string vol と string tune



string vol : 各弦の音量を個別に調整できます。

string tune : 各弦のファインチューンを 1 セント単位で +100~-100 の間で調整できます。



Envelope

演奏中の弦に対してのリリースタイムを調整します。

Plucking Control

弦が撥で弾かれて音を出すまでの挙動をコントロールします。

- **preroll** : 撥が弦に触れた瞬間から、弦が撥に弾かれるまでの最大時間を調整します。
- **RANDOM PREROLL** : ON の時、上記 preroll を Key On ごとにランダムマイズさせます。

Pitch Bend

演奏中の弦だけにピッチベンドがかかる「Solo」と、全体にかかる「All」の切り替えをします。

Phrase Control

5つのフレーズバンクから選択されたフレーズのスピードと ファインチューンを調整します。

また、キースイッチ G#0 ~ D1 のアーティキュレーションも連動しており、スピードを調整できます。

Tuning

「二上り」「本調子」「三下り」の調弦を選択でき、下に開放弦が表示されます。それに伴い、さわりと共鳴音も追従します。

Transpose

キーを変更することができ、追従した開放弦が上に表示されます。それに伴い、さわりと共鳴音も追従します。

Play Mode

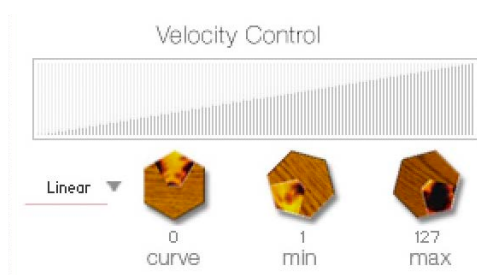
リアリティを追求する「Single」と、コード楽器として演奏可能な「Poly」の切り替えをします。

Key off Alternate Picking

サスティンペダルを踏んでいる間のオルタネイトピッキングの ON/OFF を選択します。

Velocity Control

ペロシティに対するサウンド変化をコントロールします。



- **curve type** : Velocity カーブを「Linear」「S-Curve」「Compound」「Fixed」「User」から選択します。
- **curve** : 選択したカーブに変化をつけます。
- **min** : 発音する Velocity の最小値を設定します。
- **max** : 発音する Velocity の最大値を設定します。

memory

このページでは、全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを個別に設定することができます。リストの Load ボタンをオフ（消灯）させることで、そのアーティキュレーションが無効になりメモリーサイズが軽減されます。Load ボタンのないキースイッチおよびアーティキュレーションは、オンまたはオフ操作できません。

mix play **memory**

string monitor
C3 3
G2 2
C2 1

articulation : Down Picking phrase bank : Oneshot

Load	ARTICULATION	Load	ARTICULATION	Load	PHRASE BANK
■	C0 Mute (front) 3rd string only	■	A0 Slide Up x 2 times	■	C7 Oneshot Phrase
■	C#0 Up (front) 3rd string only	■	A#0 Slide Down (Whole)	■	C#7 8 bars Phrase
■	D0 Mute 3rd string only	■	B0 Slide Up & Down (Half / Maj 3rd)	■	D7 Long Phrase 1
■	D#0 Up Picking	■	C1 Slide Up & Down (Series)	■	D#7 Long Phrase 2
■	E0 Down Picking	■	C#1 Slide Up-down-up-down (Whole)	■	E7 Long Phrase 3
■	F0 Staccato open string only	■	D1 Portamento Up	■	VOICE & NOISE FX
■	F#0 Hajiki (hammering/Tapping)	■	SPECIAL KEY	■	E1 Release Noise
■	G0 Vibrato 1st string only	■	D#1 Add Touch Noise	■	F#1/G1/G#1 Slide Noise
■	G#0 Slide Up			■	A1/A#1/B1 Voice

Plucking Control — Mod Wheel (CC#1)
Key off Up Picking — Sus Pedal (CC#64)
Hajiki (tapping) — Legato

String Mode Selector
1st string - C#2
2nd string - D#2
3rd string - F#2

Open String Sound
1st string - D2
2nd string - E2
3rd string - F2

TSUGARU SHAMISEN
VIRTUOSO JAPANESE SERIES

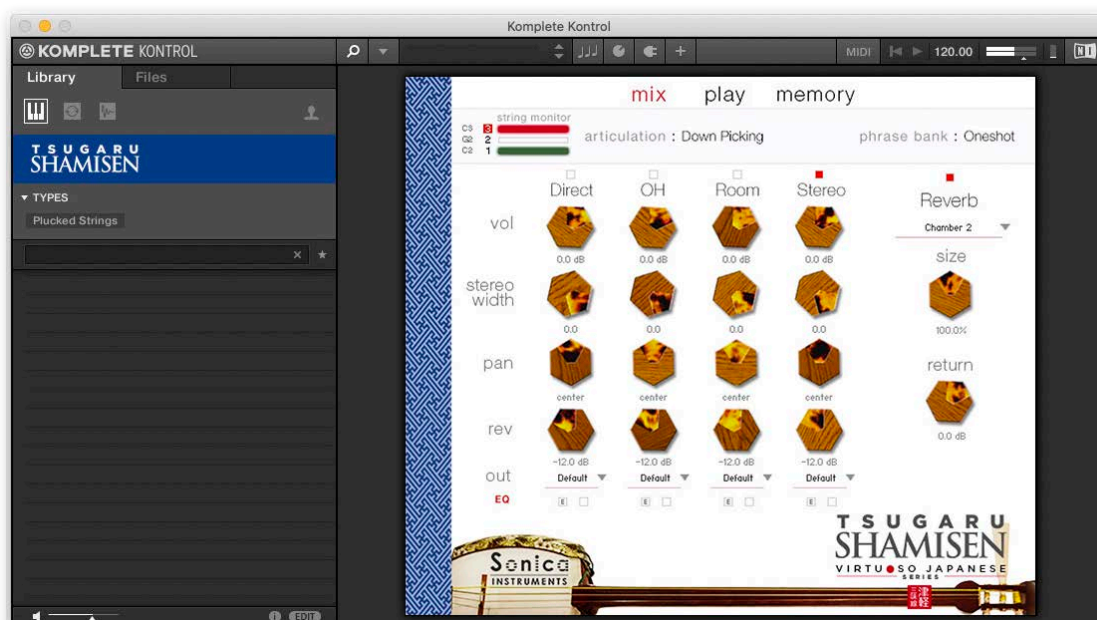
Sonica
INSTRUMENTS

Copyright © 2017 Sonica Inc. All Rights Reserved.

KONTROL シリーズのコントローラーパラメーター

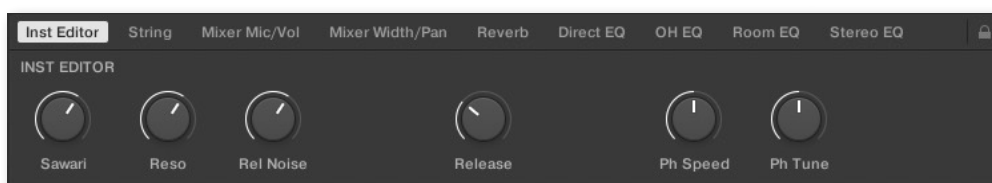
KOMplete KONTROL や KONTROL S シリーズ (MIDI キーボード) では、より直感的にコントローラーパラメーターを調整可能です (各パラメーターについては、前述の項目をご参照ください)。

KOMplete KONTROL ではコントロールボタンをクリックすると、パラメーターが表示されます。



Inst Editor

Instrument Editor のパラメーターをコントロールします。



String

String のパラメーターをコントロールします。



Mixer Mic/Vol

AudioMixerのパラメーターをコントロールします。使用するマイクチャンネルの選択と、チャンネルの音量を調整します。



Mixer Width/Pan

AudioMixerのパラメーターをコントロールします。各チャンネルのWidthとPanを調整します。



Reverb

各チャンネルからリバーブへのセンド量と、Reverbのパラメーターコントロールします。



Direct EQ

DirectチャンネルのEQパラメーターをコントロールします。



OH EQ

OH チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



Room EQ

Room チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



Stereo EQ

Stereo チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。





Credits

Executive Producer: Tomohiro Harada
Kontakt Programming: Rataro. M (Think Master Inc.)
Marketing, Translation: Craig Leonard
Audio Editing: Yoshitaka Koyama
Sample Mapping: Rataro.M (Think Master Inc.) , Yuki Kuromitsu
Recording Engineer: Keigo Sonoda (Pastoral Sound)
Photography: Takashi Matsuda, Keita Ikeda
Music Video: Yasuhiro Nakashima
User's Manual: Yoshifumi Yamaguchi (LRCOT) Project Cordination: Daichi Yoshida Production

Copyright © 2021 Sonica Inc. All rights reserved.
Sonica Instruments
<https://sonica.jp/instruments/>



この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ (SonicaInc.) に帰属します。
複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。
また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.